

2026 年-2027 年



大洲ライオンズクラブ

会報誌 2026 年 7 月号/第 472 号



中野会長 函館マラソン 完走

2026-2027 年度

中野 吉貴 会長スローガン

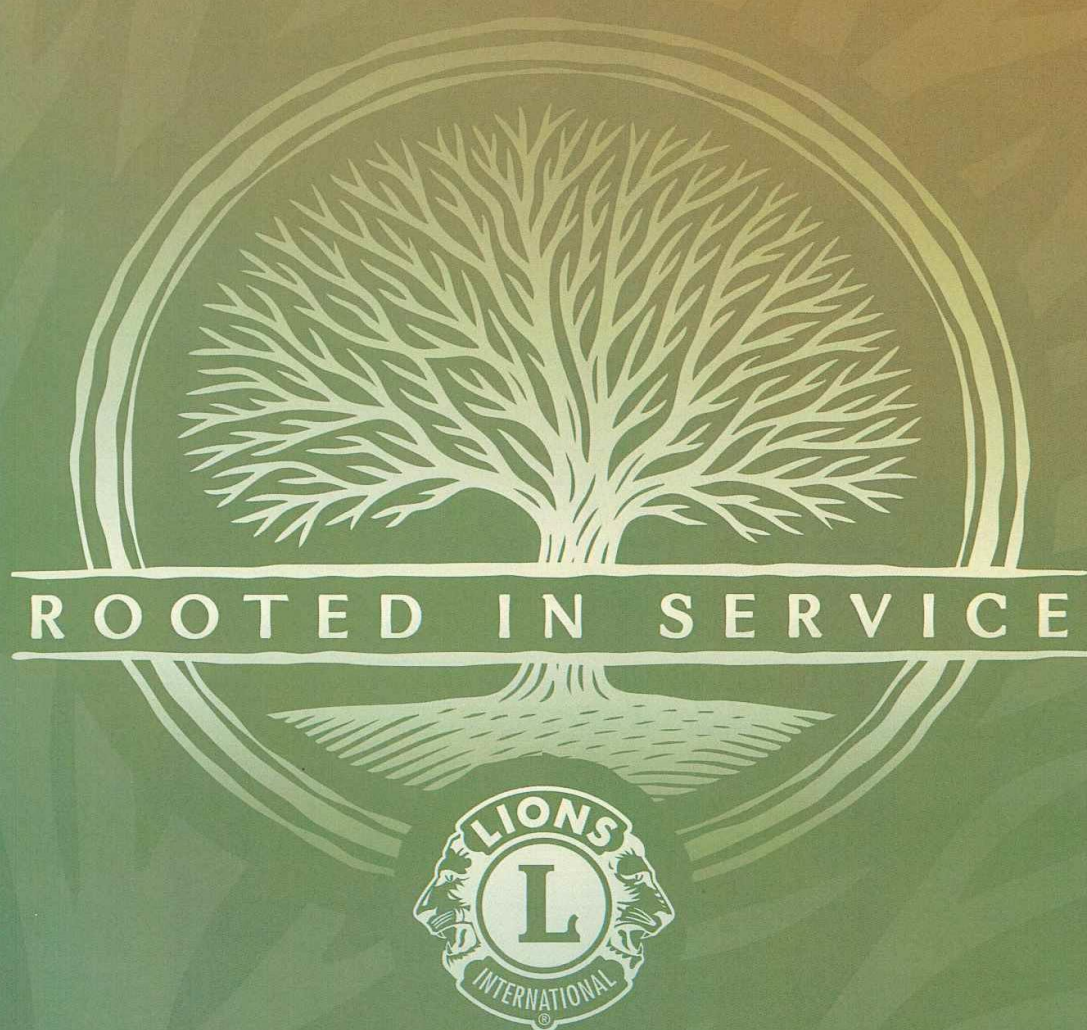
遊びに 奉仕に

We Serve

- 中野会長就任あいさつ
- 国際会長・336A 地区ガバナーズスローガン
- 菊池幹事就任あいさつ
- 第 1 回キャビネット会議報告
- 6 月第 2 例会 CN 年次会合報告
- 第 3 回お遍路体験ツアー報告
- 函館マラソン・シロシタテラスピアガーデン
- ドネーション報告
- 企業広告・編集後記

マーク S. ライオン

国際会長
2026～2027年度



奉仕は、ライオンズの土台。私たちの本質であり、私たちの活動そのものです。

私たちの根は深く、遠く、広く伸びて、
長く続くつながりを築き、世界に活力を与えています。

私たちが奉仕するたびに、私たちのルーツは
より強く、より深く成長します。

国際会長: マーク S. ライオン

テーマ: We Serve

メッセージ

Rooted in Service(奉仕に根ざして)

マーク S. ライオン(米コネチカット州ブルックフィールド)

2026 年 7 月 3 日から

7 月 7 日にかけて中国 香港で開催された

第 108 回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の
国際会長に選出されました。



2026-2027 336-A 地区ガバナーズローガン

篠原 孝尚



336-A 地区 ガバナーズローガン

「心意気を持ち We Serve」

ガバナーキーワード

「 伝統と革新 」



このたび、伝統と歴史ある大洲ライオンズクラブの会長という大役を拝命いたしました〇〇でございます。歴代会長をはじめ、諸先輩方が築き上げてこられた輝かしい歴史と実績を思いますと、その責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいです。微力ではございますが、会員の皆様のお力添えをいただきながら、一年間誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ライオンズクラブは、「WE SERVE」という世界共通の理念のもと、地域社会のために奉仕活動を続けてまいりました。この精神は時代が変わっても決して色あせることはありません。私たちが地域に必要とされる存在であり続けるためには、一人ひとりが奉仕の心を持ち、行動し続けることが何より大切だと考えております。

本年度、私はクラブスローガンを **「遊びに、奉仕に、WE SERVE」** と掲げさせてい

ただきました。「遊び」という言葉をスローガンに入れたことに、少し驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。しかし、ここでいう「遊び」とは、単なる娯楽ではありません。

会員同士が気軽に集い、語り合い、笑顔で親睦を深めること。家族会や例会、ゴルフや釣りカラオケなどを通じて、お互いを理解し、信頼関係を築くこと。そのような楽しい時間があるからこそ、「次も参加しよう」「一緒に奉仕活動しよう」という気持ちが生まれます。

私は、楽しいクラブには自然と人が集まり、活気が生まれ、その活気が地域への大きな奉仕につながると信じています。

もちろん、私たちの目的は奉仕です。地域の皆様の笑顔のために何ができるのかを常に考え、青少年育成、環境保全、福祉活動、災害支援など、それぞれの事業に心を込めて取り組んでまいります。しかし、その奉仕を長く続けるためには、まず私たち自身が笑顔で活動し、仲間との時間を楽しみ、「ライオンズクラブに入っていてよかった」と感じられることも大切ではないでしょうか。

本年度は、会員の皆様が参加しやすく、楽しく、そして達成感を感じられるクラブ運営を目指してまいります。また、新しい仲間を迎えることにも力を入れ、次の世代へとクラブの伝統をつないでいきたいと考えております。ライオンズクラブは、一人ではできないことも、仲間と力を合わせれば大きな力になります。だからこそ、役員だけでクラブを運営するのではなく、すべての会員の皆様が主役となり、それぞれの経験や知恵、そして行動力を発揮していただける一年にしたいと思っております。

未熟な会長ではございますが、皆様のお知恵とお力をお借りしながら、一歩ずつ前へ進んでまいります。どうか忌憚のないご意見をいただき、ともに笑い、ともに汗を流し、ともに奉仕の喜びを分かち合える一年にしていまいりましょう。

結びに、本年度がクラブにとって実り多い一年となりますこと、そして会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

「遊びに、奉仕に、WE SERVE」

このスローガンのもと、会員一丸となって歩んでまいりましょう。
一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



この度、大洲ライオンズクラブ 2026 年 7 月～2027 年 6 月期（中野年度）の幹事を拝命しました。幹事は 2 度目となりますが、その責務の重大さを深く胸に刻んでおります。長年にわたり地域社会のために奉仕活動を積み重ねて来られた当クラブの歴史と伝統を思うとき、その重みは計り知れず、幹事としての職務を全うすることが私に課せられた使命であると、改めて身の引き締まる思いでございます。

私なりに理解している幹事の職務は、会長をはじめ役員・会員の皆様が安心して活動に専念できるよう、諸事万端を滞りなく遂行し、円滑な運営を支えることだと思っています。私は誠実かつ丁寧に取り組むことで、クラブの発展に寄与する一助となるよう努めてまいります。

なお、本年度の中野会長のスローガン「遊びに、奉仕に We Serve」をより一層体現するため、中野会長を助け、会長の理想が大きく羽ばたくように努力していく所存ですので、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

また、社会情勢が大きく変化する中であっても、クラブが果たすべき役割は揺らぐことなく、むしろその存在意義は高まっていると感じております。必要とされる支援を的確に届けるためには、クラブ内の連携と組織力の強化が不可欠であり、幹事としてその基盤を支える責務を痛感しております。

クラブ内のコミュニケーションをより円滑にし、会員 1 人ひとりが互いに尊重し合い、活力あるクラブ運営が実現できるよう力を尽くし、幹事としての役割を果たしながら、クラブの未来を見据えた運営に寄与してまいりたいと存じますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻をたまわりますよう、心よりお願い申し上げます。

第 1 回キャビネット会議

寺尾 幸記



336-A地区 第1回地区キャビネット会議に出席致しました。香港で開催された国際大会から、帰国されてからの新居浜キャビネットのスタートでした。それぞれの挨拶に続き、各コーディネーター・チームリーダーからの連絡事項と各地区委員長からの、今期の内容等再度確認やら審議事項を決議致しました。

後半は各RC・ZCからの意気込みなど短時間でしたが申されてました。毎度懇親会は欠席致しましたが、私もアラート委員長としてのスタートが出来ました。今月より各Rの公式訪問に出向いて参ります。随時報告やらお願いがあれば、申しますので 宜しくお願い致します。

6 月 26 日(金) 本年度を締めくくる亀岡年度の最終例会「チャーターナイト記念例会」が開催されました。記念例会の中では、大洲ライオンズクラブの歴史について、クラブ唯一の語り部である濱田耕造氏より、東日本大震災より前の、2004 年新潟県を襲った中越地震の際、メンバーが被災地へ直接赴いて行った「炊き出しボランティア活動」のエピソードが紹介されました。

当時の緊迫した状況の中、温かいうどんや支援物資とともに被災地へ寄り添った会員たちの行動力と奉仕の精神は、このクラブの誇るべき原点であり、伝統として深く息づいていることを再確認する貴重な時間となりました。

当大洲 LC からは、災害・アラート関係の地区役員・委員がそれぞれ選出されました。昨今、ライオンズの地区委員の職務は、ともすれば、内容が不明確な会議参加が主な活動になっています。しかし災害支援においては、会議室での議論や企画書づくりが重要なのではなく、災害が起こった時、「何よりもまず実際に現地へ足を運び、体を使って動き、被災された方々の不安に寄り添うこと」こそが、奉仕活動ではないでしょうか。今後、災害時に大洲 LC が被災地に対してすぐに行動できるよう、アラート地区役員の活躍に期待します。

その後は今年度の活動報告、感謝状の贈呈、そしてガバナーズアワードの発表。今回は、「クラブ会報優秀賞・金賞」「国際交流賞・特別賞」を頂きました。

次年度交代式では、亀岡会長から次期中野会長に贈る言葉、そして亀岡会長、亀田幹事への感謝の花束贈呈と続き、次期中野会長からは、次年度への意気込みが感じられる、すばらしいあいさつがありました。次期体制のさらなる発展を祈念したいと思います。

富永 浩一郎



第3回 88 か所お遍路体験ツアー（愛南編）1 沖村 忠

7月5日午前6時大洲を出発しました。今回総勢7名での参加です。大洲の天気は曇り空、熱くもなく寒くもなく、お遍路日和と思って大洲を出発。三間から松野・江川崎へ、道の駅『よって西土佐』で早くもおみやげ購入とトイレ休憩。ここから四万十川沿いに四万十市中村経由の足摺岬までを東岸を南進。午前9時前に足摺岬に到着。早速、第38番金剛福寺を参拝、参道左に多きな庭が有り池もあるとても手入れの行き届いたお庭でした。

次は宿毛を目指して西岸を北進、このころからぼつりぼつりと雨が降ってきました。その内バケツをひっくり返したような雨に見舞われ、『竜串の海底館』は走行中の車から一瞬だけ見て素通り。また、「船が宙に浮いて見える」ほど透明度の高い、エメラルドグリーンの海が印象的な絶景といわれる柏島にも行きたかったのですが、土砂降りのためスルー、宿毛へ急ぐことにしました。午前11に宿毛に到着。ちょっと早い雨が雨降りの間に昼食を取る事に。今回も豚太郎？ささっと食べて第39番延光寺を参拝。この頃には、傘をさして参拝できるほどの雨の降り方でした。

次は愛南町御荘を目指して国道56号線を北上。第40番観自在寺に着いた頃には、雨も上がり少し暑くなってきました。階段もあったせいで汗を拭きながらの参拝。

次は宇和島に向けて北上。観光を全然しなかったことで時間に余裕が出来た事で、宇和島駅前にある別格6番龍光院を参拝。雨も上がり少し日も差し蒸し熱くなってきました。ここは長い階段を上がると宇和島城や海・山・市街地が展望でき、少し気持ちの良い気分になりました。

次是三間町にある第41番龍光寺、ここは参道に石の鳥居が有り横をすり抜けて駐車場へと入って行って参拝を済ませました。

次は近くにある自動車専用道路からもよく見える第42番仏木寺。立派な仁王門とかやぶき屋根の鐘撞堂を間近で見て感激。

次は本日最後の札所、第43番明石寺、午後4時30分に到着、早速参拝を済ませ4時50分に納経所へ、全員の納経帳が終わったのが午後5時丁度。1日ご苦労様でした。あとは、無事大洲へ帰るのみとなりました。

次回は本年10月頃、松山7ヶ寺を巡ります。お楽しみに待っていてください。合掌

写真は第38番金剛福寺の納経所前で一枚 第42番仏木寺の仁王門の前の1枚

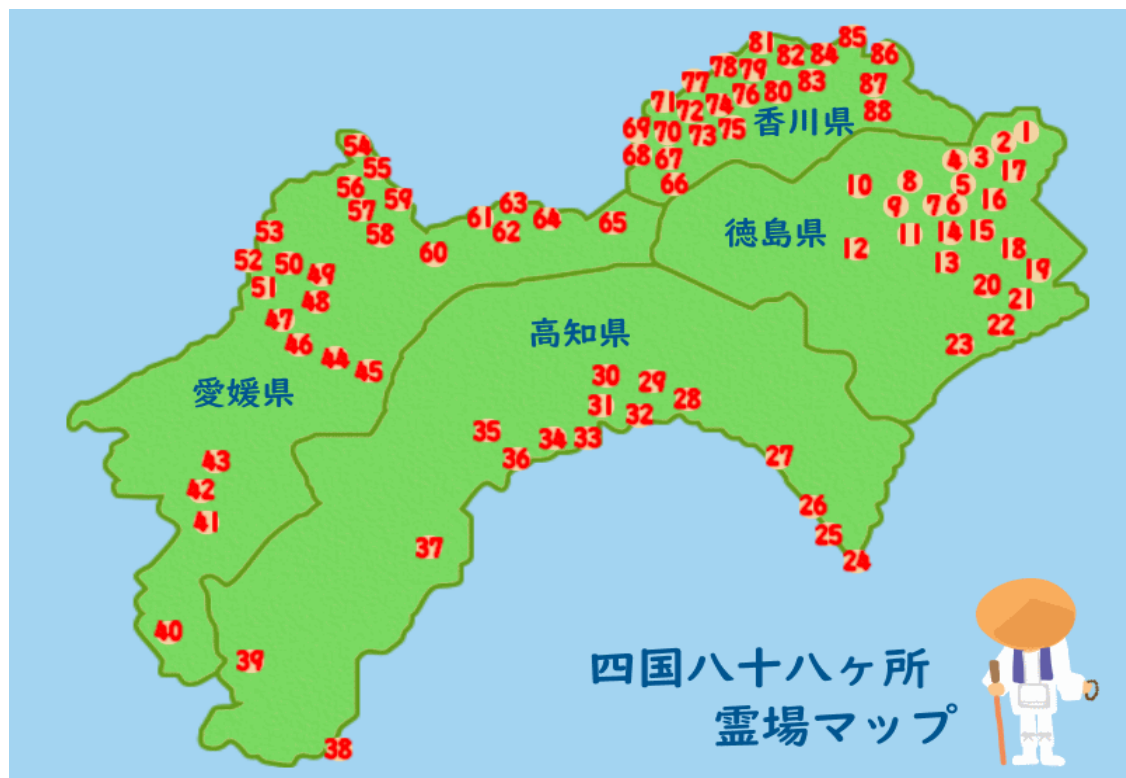


「第3回 四国八十八ヶ所お遍路体験ツアー報告」

7月5日、「第3回 四国八十八ヶ所お遍路体験ツアー」が開催されました。今回の参加者は、沖村し、中野し、菊池し、兵藤し、亀岡し、三好し、亀田しの計7名です。往路は鬼北町経由の四万十川コースで足摺へ向かい、まずは土佐清水市にある第38番札所「金剛福寺」を目指しました。

当日の天気予報は曇りでしたが、金剛福寺の参拝を終えた直後から激しい大雨に見舞われる事態に。残念ながら、予定していた竜串や柏島の美しい海岸線観光は中止を余儀なくされました。その後は第39番札所「延光寺」、第40番札所「観自在寺」、別格第6番「龍光院」、第41番札所「龍光寺」、第42番札所「佛木寺」、そして第43番札所「明石寺」へとの56号線沿いに強行軍でした。実に1日で7箇所もの霊場を巡る、非常に中身の詰まった盛りだくさんのツアーとなりました。

記録的な大雨ではありましたが、幸いにも激しい時間帯は車中移動が重なり、無事にすべてのお寺を参拝することができました。今回は歩く行程が少なかったこともあり、全員が遅れることなく行動できました。最後に、この悪天候の中で終始安全運転に徹してくださった沖村し、そして各お寺で丁寧なご説明をいただきました三好和尚に、参加者一同、心より感謝申し上げます。 亀田 雅史



6月は仕事などと思うように練習ができず、月間走行距離は約50km。それでも「せっかく函館まで行くんだから、何とか完走したい」という気持ちだけは誰にも負けませんでした。

函館マラソンの楽しみといえば、「ランナーにはうれしいご当地グルメ」。塩ラーメンや羊羹など、函館ならではの美味しいものが用意されていて、「次のエイドまで頑張ろう」と、それを励みに走っていました。

スタートは最後方ブロックだったので、号砲から約15分後ようやくスタート。前半は関門時間に余裕がないため、キロ7分を目安に走りましたが、函館のアップダウンは想像以上でした。

一番ヒヤヒヤしたのは19kmの関門です。時計を見ると残り1分。風船をつけた最終ランナーと併走、「間に合ってくれ！」と必死に走り、何とか通過できたときは本当にホッとしました。

35kmでは、一緒に函館へ来てくれた仲間の応援が待っていました。その声を聞いた瞬間、この瞬間だけは「もう少し頑張ろう」と気持ちを切り替えることができました。

終盤にはアップダウンのきつい橋が2つ待っています。脚はもう限界でしたが、「ここまで来たら絶対にゴールする」という気持ちだけで、一步一步前へ進みました。

そして迎えたゴール。制限時間まで残り3分という、本当にギリギリの完走でした。

練習不足で不安だらけのスタートでしたが、函館の景色、おいしいエイド、沿道の温かい応援、そして仲間の声援のおかげで最後まで走り切ることができました。

タイムは決して自慢できるものではありません。でも、最後まで諦めずにゴールできたことは、自分にとって大きな達成感となりました。

来年また函館を走る機会があれば、今度はもっとしっかり練習を積んで、エイドのラーメンも羊羹も、そして函館の景色も、余裕を持って楽しめる走りをしたいと思います。 中野 吉貴



シロシタテラスで開催された、肱川を遊ぶ会主催のビアガーデンに参加しました。

会場となった2階のテラスからは肱川を一望でき、夕暮れ時の美しい景色と川面を渡る心地よい風がとても印象的でした。川沿いという立地のおかげで夏の暑さも和らぎ、開放感あふれる空間の中で快適な時間を過ごすことができました。料理は「にし川」さんが担当され、どの料理も丁寧に作られており、お酒との相性も抜群でした。参加者同士の会話も弾み、終始笑顔の絶えない和やかなひとときとなりました。

このような素晴らしい催しを企画・運営してくださった肱川を遊ぶ会の皆様に心より感謝申し上げます。肱川の魅力を改めて感じるができる素敵なイベントであり、ぜひ来年も参加し、また利用したいと思います。 池本 真彦

中野開発



フォルダを開く | 転送 | Keepメモに転送

中野開発

肱川を遊ぶ会主催の飲み会に行ってきました。

午後 2:58

村上富朗

ビアガーデンの感想を聞いてみたいと思っていたので投稿グッドタイミングでした。気持ち良い風が吹いたのでは？

午後 4:04

中野開発

6時から少し暑かったですが、日も落ちると涼しくなります。終了の8時迄あつういまでした。

午後 4:25



【 ドネーション報告 】

【 6 月第 2 例会 ～ 7 月第 1 例会 例会ドネーション 】

6/26	亀岡	1 年間お世話になりました、中野君頑張ってください
	亀田	中野新年度がスタートします、期待しています
	兵藤	亀岡会長、亀田幹事、ご苦労さまでした、充実した一年でしたよ
	宮下	亀岡会長、亀田幹事 1 年間大変お世話になりました
	富永	亀岡会長、亀田幹事 1 年間お疲れさまでした、中野 L 菊池 L 頑張ってください
	寺尾幸	亀岡会長、亀田幹事 1 年間おつかれさまでした
	寺尾翔	亀岡会長 1 年間お疲れさまでした、中野新会長引き続きよろしくお願いします
	稲見	亀岡会長 1 年間お疲れさまでした、中野次期会長よろしくお願いします
	中野	1 年間ありがとうございました、来期もよろしくお願いいたします
	菊池	亀岡会長、亀田幹事おつかれさまでした、次年度よろしくお願いします
	沖村	530 運動ありがとうございました
7/10	中野	2 回目の会長となりました、一年間よろしくお願い致します
	菊池	中野年度が始まりました、一年間よろしくお願いします
	池本	中野会長、菊池幹事、1 年間よろしくお願いします
	亀田	中野会長、これから 1 年間頑張ってください
	沖村	中野会長、菊池幹事、よろしくお願いします
	兵藤	霊場 38～43 お遍路無事にめぐりました
	久保	ワールドカップ、日本万歳！すばらしかったです
	亀岡	中野会長これから一年間頑張ってください

災害支援募金箱 支援ドネーション

5/22	沖村	石川県支援募金
6/12	沖村	石川県支援募金
6/26	沖村	石川県支援募金
7/10	沖村	石川県支援募金
7/10	矢野	石川・能登支援募金

ドリンクドネーション

6/26	亀岡	濱田	稲見
	寺尾翔	池本	中野
	樽井	亀田	菊池
	兵藤	矢野	沖村





有限会社 古森石油店

古森 敏夫

大洲市徳森 3 3 6 - 1
電話 (0893) 25-2111



循環器科・呼吸器科・内科

浦 岡 医 院

院長 浦岡 忠夫

◀診療時間▶ 月～金 午前 9:00～12:30
午後 2:00～ 6:00
土 午前 9:00～12:30

◀休 診 日▶ 日曜・祝・祭日

大洲市大洲 877 TEL:24-2024

トータルビルメンテナンス



宮下 利秋

大洲市徳森 1 6 4 2 番地 1
TEL:25-1414 /FAX: 25-1133



大洲ゴルフ倶楽部

理事長 村 上 富 朗

大洲観光株式会社
〒795-0006 愛媛県大洲市野佐来879
TEL (0893) 24-5171 FAX (0893) 24-5172
<http://www.oozugolf.jp>

富永 浩一郎

大洲市平野町野田 2734-17
Tel: 090-1574-5431



株式会社
栄和測量設計

会 長 岩 田 重 栄

社団法人愛媛県測量設計業協会会員

〒795-0011 愛媛県大洲市柚木 474 番地 1
TEL (0893)24-7386 (代) FAX(0893)24-7350
E-mail:eiwa@isis.ocn.ne.jp

【 編集後記 】

会報担当委員長 池本真彦

会報担当委員長の池本です。委員長を引き受けるに当たり、過去の会報数年分をパラパラと読み返してみましたが、年度によって会報の趣も異なり、委員長の個性（もしくは実質的に編集をほぼ全て行っているさゆりさんの感性の変化 or 編集スキルの向上？）が反映されているのを興味深く感じました。

今年度も、大洲ライオンズクラブ、そして会員の皆様の魅力を存分に伝えられる会報を作成していきたいと考えています。会員の皆様には、隙あらば原稿の作成をご依頼すると思いますが、少なくとも表向きは嫌な顔をせずにご協力いただけますと幸いです。また、我こそは原稿を書きたいという方がいらっしゃいましたら、大歓迎ですので、是非積極的にお声かけください。 それでは、1年間どうぞよろしくお願いいたします。